年間授業計画　様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　国語　科目 論理国語

教　科：国語　科　目：論理国語　単位数：2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（１、４組：井口）（２、３、６組：戸塚）（５、７組：鈴木）

使用教科書：（ 東京書籍「精選論理国語」論国７０２）　）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的，批判的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　論理国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A言葉を再考する 【知識及び技能】 ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ，学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について，自分の考えを深める。 ・粘り強く近代の二元論的自然観と環境問題とのつながりを捉え，学習課題に沿って環境問題に対する視野を広げる。	・言葉を再考する 「言語と記号」 ・近代という時代 「環境問題と孤立した時代」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ，学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について，自分の考えを深めようとしている。 ・粘り強く近代の二元論的自然観と環境問題とのつながりを捉え，学習課題に沿って環境問題に対する視野を広げようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
	C 近代という時代 【知識及び技能】 ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分	・近代という時代 「鏡の中の現代社会」 ・メディアを問い直す 「おじいさんのランプ」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識・技能】 ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	13

	と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで筆者の主張と，論拠となる五つの具体例の関連性を理解し，今までの学習を生かして自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義をつかむ。 ・積極的に筆者の経験や事例と主張のつながりを捉え，学習課題に沿って情報化社会における書物の在り方について，自分の考えを深める。					【主体的に学習に取り組む態度】 進んで筆者の主張と，論拠となる五つの具体例の関連性を理解し，今までの学習を生かして自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義をつかもうとしている。 ・積極的に筆者の経験や事例と主張のつながりを捉え，学習課題に沿って情報化社会における書物の在り方について，自分の考えを深めようとしている。				
	定期考査						○	○		1
2学期	E 他者のいる思考 【知識及び技能】 ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで原始社会の見方についての筆者の主張を理解し，学習の見通しをもって社会に対する歴史的見方や考え方を深める。 ・粘り強く哲学における複数の立場による自由論について理解し，今までの学習を生かして哲学的観点からロボットが「意志を持つ」ことについて自分の考えを深め，話し合う。	・他者のいる思考 「原始社会像の真実」 「ロボットは意志を持つか」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで原始社会の見方についての筆者の主張を理解し，学習の見通しをもって社会に対する歴史的見方や考え方を深めようとしている。 ・粘り強く哲学における複数の立場による自由論について理解し，今までの学習を生かして哲学的観点からロボットが「意志を持つ」ことについて自分の考えを深め，話し合おうとしている。	○	○	○	18
	定期考査						○	○		1
	F 困難な時代に 【知識及び技能】 ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深める。 ・「読むこと」において，設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に，必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く具体例や引用と筆者の主張の関係を捉えて論理展開を理解し，学習課題に沿って社会の現状と結びつけて，「知性的」であることの必要性を，具体例を挙げながら述べる。 ・積極的に二項対立による論理展	困難な時代に 「社会の壊れるとき」 「虚実の間に」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 ・「読むこと」において，設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に，必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く具体例や引用と筆者の主張の関係を捉えて論理展開を理解し，学習課題に沿って社会の現状と結びつけて，「知性的」であることの必要性を，具体例を挙げながら述べようとしている。 ・積極的に二項対立による論理展開から筆者の主張を理解し，今までの学習を生かして情報技	○	○	○	12

	・積極的に二項対立による論理展開から筆者の主張を理解し，今までの学習を生かして情報技術がもたらした功罪について，身近なＳＮＳなどの問題を踏まえながら，考察を深める。					術がもたらした功罪について，身近なＳＮＳなどの問題を踏まえながら，考察を深めようとしている。				
	定期考査						○	○		1
３学期	G自己と社会 【知識及び技能】 ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く「オフサイドのルールがない」という現象から導き出す本質と，ボールゲームのゴールの数と資本主義の投資の反復との類推の関係から，筆者の主張を捉え，学習の見通しをもって主張の論拠を批判的に考察し，自己の社会学的視点を深める。 ・進んで人間の社会的欲望と倫理的努力に対する筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って他者との関係性の構築について，自分の考えを述べる。	自己と社会 「サッカーにおける『資本主義の精神』」 「抗争する人間」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し，文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く「オフサイドのルールがない」という現象から導き出す本質と，ボールゲームのゴールの数と資本主義の投資の反復との類推の関係から，筆者の主張を捉え，学習の見通しをもって主張の論拠を批判的に考察し，自己の社会学的視点を深めようとしている。 ・進んで人間の社会的欲望と倫理的努力に対する筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って他者との関係性の構築について，自分の考えを述べようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
										合計
										70